



あけまして
おめでトン!

大船渡市PRキャラクター
「おおふなトン」

謹賀新年



大船渡市長
戸田 公明

新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から、間もなく8年が経過いたします。この間、国内外からの多大なるご支援と市民の皆様からのご理解を賜り、復興を進めてまいることができましたことに、深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、本市の復興計画事業は計画期間を残り2年3カ月とする中、終盤を迎えるところまで進んでまいりました。

大船渡駅周辺地区におきましては、防災観光交流センターが完成・開所し、キャッセン大船渡街区で開催される多くの催事には、世代を問わず交流し、楽しむ姿が見られるなど、まちのにぎわいがありますます形づくられつつあります。

また、被災跡地に整備された人工芝グラウンドや多目的広場の本格的供用開始をはじめ、企業誘致した大規模農園の建設が着実に進捗するなど被災跡地の利活用も進んでおります。

さらに、地域防災の拠点となる消防屯所の復旧につきましても、全18棟の建設が完了し、地域防災の要として万全を期する環境を取り戻すことができました。今後は、復興完遂を目指しながら、多

様な地域課題に対応したまちづくりをより一層推進していかなければなりません。このことから、本年におきましては、「復興の総仕上げと高齢化・人口減少の時代に対応する地域力の向上を図ること」「多様な地域課題の克服に挑戦し、地域産業を活性化して市民所得の向上と少子化に歯止めをかけること」を市政目標に掲げ、積極果敢に取り組みを進めてまいります。

特にも、復興期間内での完了を強く意識した市中心部のまちづくりや被災跡地への企業誘致・公園の整備など、復興の総仕上げに全力を尽くしてまいります。

また、地区と行政との協働推進による地域力の向上や合計特殊出生率向上を目指した次世代育成支援の強化、大船渡港の利活用や国際化に直結する国際リニアコライダー誘致促進、小中学校統合による教育環境の向上、さらに、観光ビジョンの具現化に加え、ラグビーワールドカップや三陸防災復興プロジェクト開催を契機とした広域的連携による外国人を含めた交流人口の拡大・観光振興など、より一層元気なまちにしていくための各種取り組みに誠心誠意、全精力を傾注してまいります。

早期復興と大船渡市の新しいビジョンの実現に向け、本年も、市民の皆様と協働し、まい進してまいりますので、引き続き、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多きすばらしい年になりますことを心から祈念し、年頭のあいさつといたします。